



## 防災計画の見直しの進捗状況は

### 町長 住民の命、一人も亡くさない体制の確立

問

昨年、次年度に新たに防災計画を見直し、防災マップの新規作成等も行うとの回答であったが、その進捗状況を伺う。

- ① 避難所、避難場所の効果的活用の内容。
- ② 災害時における一避難所に対しての配置人員数と職員の仕事及び町全体で何力所の避難所が開設運用できるのか。
- ③ 防災無線の購入総数は把握しているのか。その後の配布状況と残数の今後の予定は。
- ④ 防災無線の活用範囲は。
- ⑤ 避難所、避難場所等の標識は落ち度なく現地確認と状況の把握をしているか。
- ⑥ 非常用資機材と非常食等の準備状況、保管場所の整備と利便性の確保ができているか。
- ⑦ 職員の非常時における呼集段階と所要時間は。

町長

- ① 指定緊急避難場所については、関係住民との協議、現地調査が必要と判断し、今後早急に協議、現地調査を行い解除を含め決めていきたい。
- ② 避難所の開設は14力所中10力所の開設予定。原則は一避難所2名の職員を配置予定。

任務は施設の安全確認後、避難者の受け入れを町内会長等と連携し運営する。

③ 現時点で2225台が貸与済み、775台が未貸与。今後、範囲を広げ配置を推進していく。

④ 防災無線は、条例に基づき災害の予防・応急対策・復旧、その他緊急を要する情報伝達、町の公示・広報事項の伝達・国等その他公共機関からの周知事項の伝達に使用という規定に基づき引用。住民の生命・財産に危機が及ぶ恐れがある場合などの基準に照らし運用している。

⑤ 各標識については、早期に修正していく。

⑥ 食料品は備蓄目標に対して約30%、令和3年度末で100%の予定。その他については令和4年度末となる。保管場所は、庁舎建替のため旧東陵中学校や保健福祉会館、保育所で保管。新庁舎完成後、管理の容易性、利便性により分庁舎での保管を予定。

⑦ 呼集段階は、第1から第3非常配備までである。所要時間は約95%の職員は徒歩30分以内の距離に居住し、条件を設定しない場合、1時間以内で参集を

想定している。

問

マップの作成時期が不明である、明記すべきでは。

危機管理室長

明確に時期を記載したい。

問

一避難所に2名配置とのことだが、より詳細に任務分担が必要なのでは。

危機管理室長

職員の数、或いは町内会等で協力できる数を検討し直し回答したい。

問

防災無線の活用範囲は、防災だけでなく、町民生活に関する情報、全国瞬時警報システム、消防に関する情報等をそれぞれ町民に知らせ、安心安全を確保するとなっているのでは。

危機管理室長

検討して運用の範囲を考へる。

問

新規に増えた避難場所の俱知安高校、俱知安農業高校に標識がないのはなぜか。

危機管理室長

予算化して早期に設置、または配置見直しにより設置する。

問

保管場所を一括集中保管できない理由は。

町長

備蓄管理は一目でわかる倉庫管理に努めたい。



適切な管理が求められる旧東陵中学校